

チケットのお問合せは : 075-241-0446か075-712-5838まで

1 FRI	R SPLASH	前/3090 当/3605
2 SAT	峰厚介(Ts)5 秋山一将(G) 大口純一郎(P) 岡田 勉(B) 古澤良治郎(Ds)	前/4120 当/4635
3 SUN	日野元彦(Ds)グループ 五十嵐一生(Tp) 佐藤達哉(Ts) 道下和彦(G) 納 浩一(B) 大石 学(P)	前/4120 当/4635
4 MON	終日貸切営業	
5 TUE	JOSHUA BREAKSTONE(G)4 福呂和也(B) 三科武士(Ds) 八木隆幸(P)	前/3090 当/3605
6 WED	UNIT 三上達也(G) 近藤美保子(P) 稗田隆文(Ds) 大坪真治(B)	前/1854 当/2060
7 THU	お勉強BAND vs 藤山岳夫 (EX さくら組)	前/1236 当/1545
8 FRI	酒井 俊(Vo)グループ 林 栄一(As) 米木康史(B) 大徳俊幸(P) セシルモンロー(Ds)	前/3605 当/4120
9 SAT	古谷 充(As·Ss·Fl)New Project 宮原 透(Pf) 岡本博文(G) 西野欣哉(Per) 藤本博彦(B) 永見 潤(Ds) 古谷光広(Ts·Ewi)	前/2884 当/3090
10 SUN	出世をとるかBANDをとるか!? がんばれサラリーマンライブVol.3 —春のオープン戦— 京セラ・島津製作所・セキスイハウス	7:00スタート 前/1854 当/2060
11 MON	「MITOと天才楽団」 MITO(P·Vo) 高相長生(Sax) 三三三(Ds) 黒石 昇(B) vs JUKE JOINT	前/1854 当/2060
12 TUE	Urban Scape~from東京	前/2369 当/2575
13 WED	Urban Scape~from東京 vs 西田弘尚(Tp) JAZZJANGLE from同志社大学サードハードオーケストラ	前/1545 当/1854
14 THU	THE BLACK BOTTOM BRASS BAND	前/1545 当/1854
15 FRI	フィリップ・ハミルトン トリオ プロデュース BY ジロ吉田 PHILIP HAMILTON(Voice/per) JAMSHIED SHARIFI(P·Key) JIRO YOSHIDA(G)	前/4120 当/4635
16 SAT	W·I·N·S 和田アキラ(G) 石黒 彰(Key) 永井敏巳(B) 菅沼孝三(Ds)	前/3605 当/4120
17 SUN	Do it 西野やすし(G·Vo) 山田はるそう(B·Vo) 小野ひでお(Ds·Vo) 小林エミ(Vo)	前/2884 当/3090
18 MON	SOUTH BOUND TRAIN vs バンブーブラザーズ+ファンキー松田(Vo)	前/1854 当/2060
19 TUE	クミ&ラブスターゴゴ vs 小川洋一郎(G·Vo) 河内 博(G) 大村あつし(P)	前/1854 当/2060
20 WED	K·K·M·N KaJa(Vo) 小林健治(Ds) 山本マサシ(Per) 仲 豊夫(G) vs サウスサイドママ from東京	前/2060 当/2369
21 THU	岡本博文NEWギターBAND 岡本博文(Ag) 岡 尚史(Ab) 西野欣哉(Per) 森本耕司(Ds)	前/2369 当/2575

2 峰厚介(Ts)5

ジャズファンには絶対おススメの峰厚介クインテット。峰厚介の変幻自在かつおらかな自然体のサウンドに、ジャズというものに対するイメージがくつがえされてしまいかもしれない。でも、それが快感であり喜びになってしまふ不思議なパラドックスが存在するのである。音楽に対して言葉はいくら並べてもナンセンスだ。兎角、聞きに来るべし。(CD「メイジャートウマイナー」が'93年ジャズディスク大賞で「日本ジャズ賞」を受賞、絶好調発売中です。)



3 日野元彦(Ds)グループ

昨年10月に発表したアルバム「IT'S THERE」も好調の日野元彦が、自己のグループで登場する。このアルバムは聞いてもらえば、すぐに分かると思うが、1970年代ロック史に金字塔をうちたてたあのレイト・ツェッペリンのカバーなのである。日野元彦は、ジャズミュージシャンなのにどうしてロックのカバーをするのかという疑問を持つ人も多いだろう。だが、ツェッペリンのドラマーであるジョン・ボーナムのロックでありながらもジャズを感じる奏法に共感し、以前からよくコピーしたものだとも語っている。ジャズは難しいものという認識を乗り越えて、「TOKO'S SOUND」は、その懐の深さを感じさせてくれるだろう。



5 ジョシュア・ブレックストーン(G)4

今回でRAG3回目の出演となるジョシュア・ブレックストーン。新作「グラント・グリーン」に捧ぐ、も好評で、乗りに乗っての来日です。これまでトニー・フナガン、パリー・ハリス、ケニー・パロン等とレコーディングをし、特にトニー・フナガンが絶賛するほどのすくぬきもの。メロディアスでホーンライク(管楽器のような)な彼のアドリブは、聞く者をうならせるでしょう。今回のメンバーは、前回同様もうすっかり気の合った関西の若手3人組、ピアノに八木隆幸、ベースに福呂和也、ドラムに三科武士で、今まで以上に楽しいセッションになるでしょう。



8 酒井 俊(Vo)グループ

京都で歌うのはこれが最初ということになるわけですが、どんな夜になるのやら今から楽しみでなりません。「アメイジング・グレイス」や、ローリングストーンズの「サティスファクション」又、ジャズのナンバーから「サマータイム」など歌いたい事を歌いたいように……と思っています。どうぞいらして下さい。そして夜に踊り、飲み、語らっていただけならとても嬉しいです。お会い出来るのを楽しみにして……。

—酒井 俊
酒井 俊(Vo)
ジャズからロック、ブルースと様々なフィールドから様々な題材を選び、酒井 俊節でうたいこなす個性派ボーカリスト。共演者も毎回豪華で、渋谷 毅オーケストラを中心に91年「香港ブルース」をリリース、その多彩ぶりを発揮した。今回も、林 栄一(As·Ss)、米木康史(B)、大徳俊幸(P)、セシル・モンロー(Ds)と日本を代表する猛者JAZZメンをしたがえてRAGにやってくる。



9 古谷充(As·Ss·Fl)New Project

古谷 充とザ・フレッシュメン解散後、現在も活躍中の大型ジャズバンド(古谷充スーパーシンフォニックバンド)に続いて結成した「古谷充New Project」であるが、動き出したな、と予感することの出来たのは前回12月のライブであった。そしてメンバーもほぼ固定したかと思われるいい感じの春の陣である。

メンバー編成を見ていただいたらお分かりいただけると思うが20代のピチピチ若手ミュージシャンの思い切ったヤングパワーをベテランミュージシャンがその重厚なる年功技で包み込むというのがこのバンドの特徴。サウンドもこれを反映してか70年代のクロスオーバーフュージョンを題材に、90年代の新しい解釈でのクオリティーの高いバンドサウンドを感じる。この京都ラグをホームグラウンドとして、このNew Projectは今年実におもしろくなりそうである。



15 フィリップハミルトン THE TRIO

待望の2度目のRAG登場となります。前回7月の素晴らしいステージが今目にやきついています。パーカッションとボーカルを担当するフィリップハミルトンは、澄んだ声が実によくとり我々の気分をハッピーにする本物です。あのナルド・フェイゲンとマイケルマクドナルドが共演したライブCD「Live at the BEACON」にもボイスパーカッションで参加(見開きジャケットにも写真がのっている)今後の活躍が大いに期待されます。そしてJiro Yoshidaはバークレー音楽院卒業後、米国に滞在。同学院講師として又ボストンサウンドワークショップのリーダーとしても活躍中の名ギタリスト・アレンジャー・コンポーザーである。むこうのミュージシャンに信頼のあついでんとして活躍している。そしてキーボードのジャミット・シエリファイは静寂の中に動を感じるつかみどころのないセンス二重丸のキーボーティストだ。この3人の作り出すサウンドは、本当に不思議だが、おやアと思ってしまうオリジナリティーの強さがある。ラテン・ジャズ・ロック・ポピュラーミュージックをそのものの輪郭をほかし空気と静寂で味付けをしたといううもの、超オスメのこのライブ是非ごらん下さい。



16 W·I·N·S

こちらも待ちに待った約1年半ぶりのラグのステージとなります。ギターのと和田アキラはプリズム、松岡直也グループ等でおなじみ、日本のギタリストの歴史を様々な面で作った1つのブランドともなりつつある名手である。あのアラン・ホールズワースをほうふつさせる変幻自在なプレイは今もなおとどまるどころを知らない。そしてベースの永井敏巳は、最近、是方博邦と意気投合「KORECHAN'Z」にて名サポートぶりみせる。ドラムの菅沼孝三も永井と組んでの「手数王」、「音数王」は有名、ビリー・コフハム風のドラミングは日本一シングルストロークの速いドラマーかもしれない。「チャゲ&飛鳥」のサポートでも有名、キーボードの石黒彰は和田アキラとのプロデュース等でチームワークは抜群、クラシカルでポップなキーボードプレイを見せる。それぞれに多忙なメンバーがスケジュールの合間をぬってやるという意気込みの強いBAND。これは大変価値のあるライブといえよう。






～平安建都1200年・RAG創業十三周年記念～

東原力哉十三夜音語り



RAG

LIVE SPOT

4/22 FRI	東原力哉(Ds) 本多俊之(As・Ss) スーパーセッションナイト 野力奏一(Key) 青木智仁(B) 前/4635 当/5150	29 FRI	東原力哉(Ds) 渡辺香津美(G) クレイジーギグナイト 難波弘之(Key) 高橋ゲタ夫(B) 土岐英史(Sax) 前/4635 当/5150
23 SAT	東原力哉(Ds)・日野皓正(Tp) グレートジャズナイト 鈴木"コルゲン"宏昌(P) 金沢英明(B) 前/6180 当/7210	30 SAT	東原力哉(Ds) 坂田明(Sax) パンクジャズナイト 続木 徹(Key) パカボン鈴木(B) 岡本博文(G) 前/4120 当/4635
24 SUN	東原力哉(Ds) MEETS 塩次伸二(G) ジャジーブルースナイト 妹尾隆一郎(Harp・Vo) 金沢英明(B) 有吉須美人(P) 小林エミ(Vo) 前/4120 当/4635	5/1 SUN	ザ・トランジションスペシャルナイト Vol.2 ザ・トランジション ゲスト 峰厚介(Ts) 向井滋春(Tb) 前/4120 当/4635
25 MON	東原力哉(Ds) MEETS 中本マリ(Vo) ジャズボカールナイト 金沢英明(B) 田中裕士(P) 前/4635 当/5150	2 MON	東原力哉(Ds) 村上"ポンタ"秀一(Ds) ポンリキナイト 岩見和彦(G) 清水 興(B) 野々田万照(Ts) 前/4635 当/5150
26 TUE	ザ・トランジションスペシャルナイト Vol.1 ザ・トランジション 田中裕士(P) 古谷充(Ss・As) 神田芳朗(B) 東原力哉(Ds) ゲスト 伊東たけし(Sax) 前/4120 当/4635	3 TUE	猛獣ナイト 石田長生(G・Vo) 鳴瀬喜博(B) 八尋知洋(Per) 中村建治(Key) 東原力哉(Ds) 前/4635 当/5150
27 WED		4 WED	
28 THU			

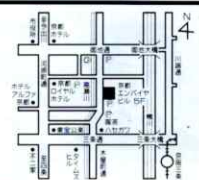
OPEN 6:00PM =おおまかなジャンルは以下の通りです=
 START 7:30PM □ジャズ □フュージョン
 CLOSE 4:30AM □ロック □ブルース
 平日はライブ終了後、大型スクリーンによるミュージックビデオ上映
 金・土は0:00AMより星山啓ーピアノデュオをお楽しみ下さい。
 ライブ終了後のパブタイム(10:30PM～)は
 ノーチャージで4:30AMまで(4:00AMオーダーストップ)

チケットは:ラグ075-712-5838・075-241-0446 チケットぴあ06-363-9999へ

ライブスポットラグ 京都市中京区木屋町三条上ル京都エンバイヤビル5F

ラグ・インターナショナルミュージック 〒603 京都市北区上賀茂今井河原町87 ジャパンクラブビル3F(現金書留受付先)

後援:(株)平安建都1200年記念協会 FM802 jazzlife Drums パール楽器製造株式会社
 協賛:KIRIN BEER 協力:SwingJournal 京都ロイヤルホテル



京都1.4.9.7



京都だけのオリジナルビール

KIRIN

エステル香がキレイです。